

# 東京都版チャイルドビジョン（幼児視界体験メガネ）

子どもの安全を守るのは、大人の役目です。

そのためには、子どもの特性を理解することが大切です。

チャイルドビジョンを作って、幼児の視界を体験してみましょう。

## 作成方法と使用方法

1. 印刷したものをのりで厚紙に貼り付ける。（黒い厚紙を使うとより効果的です。）
2. はさみで黒線を切り取り、組み立てる。
3. 子どもの目の高さになり、メガネをのぞいてみましょう。

### 【注意】

このメガネは、大人（ドライバーや子どもの保護者）が幼児の視界を体験するためのものです。道路で使用する際は安全に十分注意してください。

子どもが使用すると視界がさらに狭くなり危険です。おもちゃとして使用させないでください。

## 東京都福祉保健局のホームページに掲載しています。

「東京都チャイルドビジョン」で検索してください。

### 【印刷上の注意】

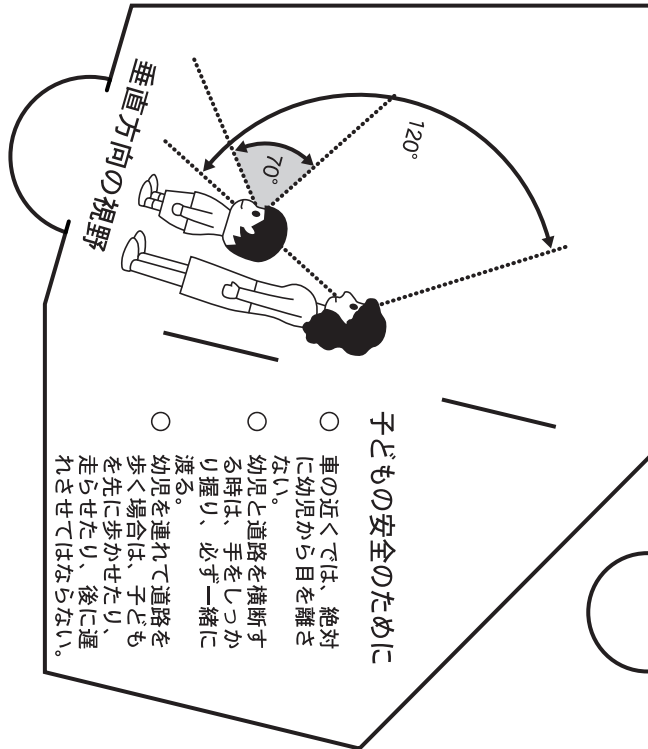
A4 サイズの用紙で印刷すると、PC やプリンターの設定によっては実寸より縮小される場合があります。実際のサイズで印刷するように設定するか、A3 など大きいサイズの内紙を使用してください。

### 【問合せ先】

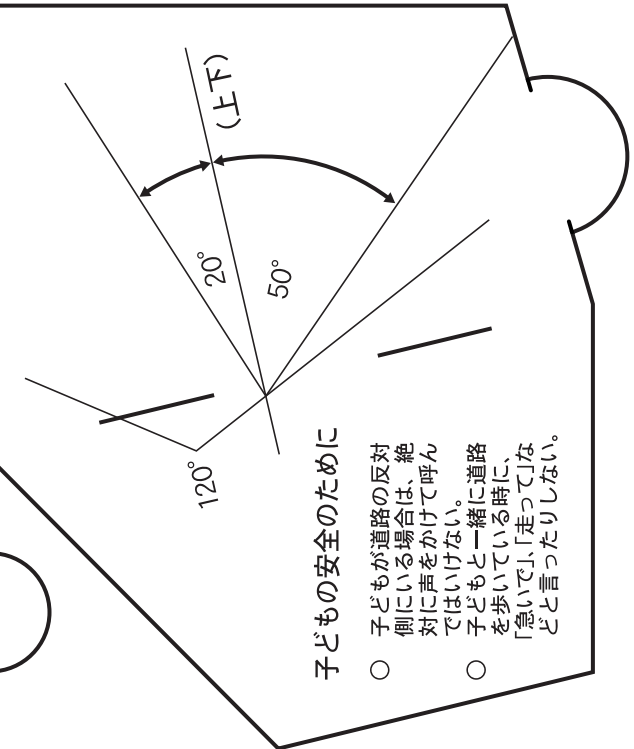
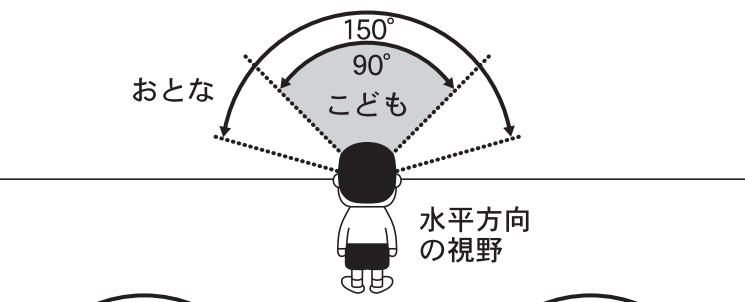
東京都福祉保健局 少子社会対策部  
家庭支援課 母子保健担当 渡邊、林  
電話 03 (5320) 4372 (直通)  
FAX : 03 (5388) 1406

# チャイルドビジョン (幼児視界体験メガネ)

このメガネは、大人（ドライバーや子どもの保護者）が  
幼児の視界を体験するためのものです。  
幼児の目の高さになり体験しましょう。



- 子どもの安全のために
- 車の近くでは、絶対に幼児から目を離さない。
  - 幼児と道路を横断する時は、手をしっかりと握り、必ず一緒に渡る。
  - 幼児を連れて道路を歩く場合は、子どもを先に歩かせたり、連れさせてはならない。



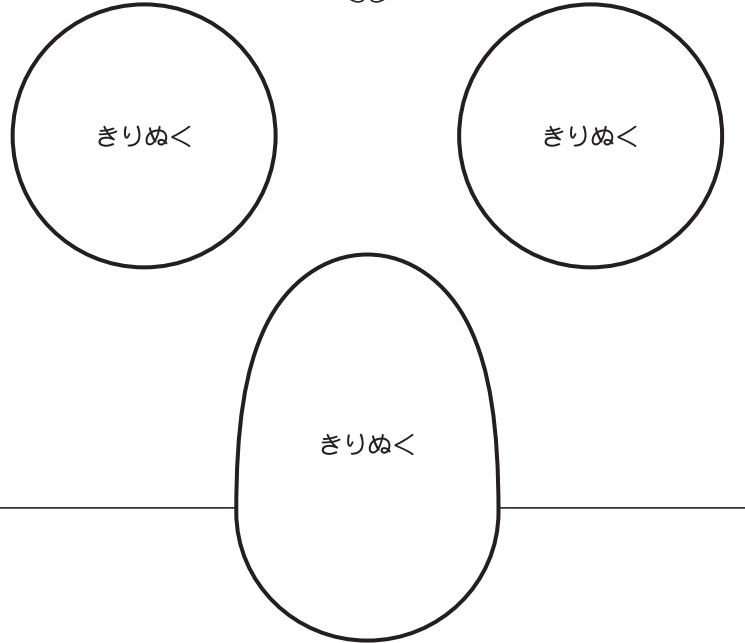
- 子どもの安全のために
- 子どもが道路の反対側にいる場合は、絶対に声をかけて呼んではいけない。
  - 子どもと一緒に道路を歩いている時に、「急いで」「走って」などと言ったりしない。

## 子どもの特性について知っておきましょう

- 子どもの目の高さは大人より格段に低いので、視界が限られる。
- 一つのものに注意が向くと、周りのものが目に入らなくなる。
- 物事を単純にしか理解できず、また、その時々気分によって行動が変わる。
- 「危ない」とか「注意なさい」という抽象的な言葉では理解できない。
- 環境や条件が変わると、応用動作ができない。
- 大人がそばにいと、それに頼る気持ちが強くなる。
- 車の下や、路上の物陰で遊ぶ傾向がある。

## 子どもへの指導は

- 具体的に教える。（実際に道路を渡る時に「立ち止まり、頭を動かして左右を見る」ことを教える等）
- 何度も繰り返して教える。



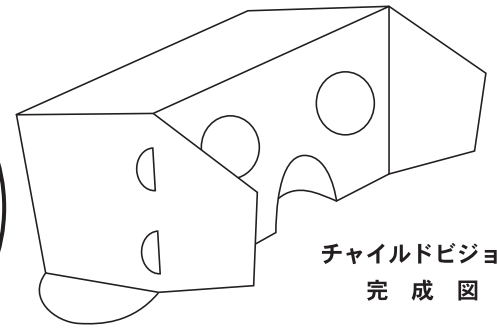
子どもを守るのはあなたです



制作協力：横浜市、テラダクラフトスタジオ 寺田松雄

## [作り方]

- 切りとり線
- 折り線



チャイルドビジョン  
完成図

引用・参考文献  
スティナ・サンデルス：交通のなかの子ども  
日本自動車工業会：子どもの道路横断行動からみた交通安全対策に関する研究報告書